

令和7年度 第1回倉敷科学センター協議会 議事録

【日 時】 令和7年7月24日（木）18：30～21：05

【会 場】 倉敷科学センター研修室及びプラネタリウム

【出席委員】 稲生委員、河村委員、根馬委員、塩田委員、中原委員、畠中委員、原委員、
福田委員、三重委員、守屋委員

【事務局】 仁科教育長、永野部長、兼田所長、浅野館長、三島主幹、石井主幹、西村主幹、
千田事務員

【傍聴者】 3人

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】 ただいまから、倉敷科学センター協議会を開催いたします。私は科学センター館長の浅野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。まず、会議の成立について、確認いたします。倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により「委員の半数以上の出席を以って会議は成立」とあります。委員数10人のところ、本日の出席者数は10人ですので、会議は成立しております。また、この会議は原則公開となっており、本日の傍聴者は3人です。それでは、開会にあたり、倉敷市教育委員会仁科教育長からご挨拶を申し上げます。

【教育長】 委員の皆様方、こんばんは。二日前は二十四節気の大暑ということで、ますます暑くなっているような毎日です。そういった中、倉敷科学センター協議会開催のご案内をいたしましたところ、皆様ご多忙にもかかわらずご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また皆様には、本市の教育行政につきまして、特別のご支援ご協力をいただいておりますことに、重ねてお礼を申し上げたいと思います。さて皆様この度の委員としての新しい任期に入られるということで、あらためまして当センターの設置目的を述べさせていただきますと、条例には、「科学および科学技術に関する知識の普及、啓発を通して、創造性豊かな青少年の育成を図る」、こういうふうに明記されております。その目的を果たすためにも科学センターに訪れた子どもたちの多くがプラネタリウムや科学展示室を見学し、あるいは様々な講座に参加して科学の真理や不思議さに触れることによって、科学に対する興味を深めてくれることを願っているところです。そして令和11年度中には、自然史博物館がライフパーク倉敷に移転してまいります。現存の科学センター、市民学習センター、埋蔵文化財センターとさらに連携を深めて、ライフパーク倉敷を訪れる方々の、知りたいという思いに応える「知の拠点」を目指して計画を推進してまいりたいと考えております。そのためにも今年度も多様な事業を実施していく予定でございます。さらには来年には設立100周年を迎える旧倉敷天文台スライディングルーフ観測室を活用した観望会などを企画しております。この後、事務局から令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、そして全天周映画上映作品の選定について、説明させていただきますの

で、ご協力の程、よろしくお願ひしたいと思ひます。最後になりましたが、今後とも科学センターをはじめ、本市の生涯学習の推進につきまして、ご指導、ご支援を賜りますことをお願ひ申し上げまして開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(2)委嘱状交付(教育長から稲生委員へ委嘱状を交付、他の委員には事務局より配布)

(3)委員紹介(名簿順に自己紹介)

(4)事務局紹介(名簿順に自己紹介)

(5)会長及び副会長の互選

【事務局】今回新しい任期となりますので、科学センター協議会条例施行規則第10条第2項の規定により、会長・副会長を互選していただきます。自薦・他薦などの方法がありますが、いかがいたしましょうか。

(福田委員が会長に、中原委員が副会長に、それぞれ立候補)

【事務局】皆様、異議ございませんか。

(全員異議なし)

【事務局】それでは会長は福田委員、副会長は中原委員にお願いすることにいたします。福田会長、中原副会長は議長席に移動をお願いいたします。

(福田会長、中原副会長が議長席に移動)

2 諮問

【事務局】それでは、次第の2、本日諮問する事項について、「諮問書」を読み上げます。

倉敷科学センター協議会 会長 福田尚也 様

(諮問)「1. 令和7年11月期及び令和8年3月期全天周映画上映作品の選定について」

3 報告・協議

【事務局】ここから、福田会長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

(ここから福田会長が議事を進行)

(1) 議事録署名人の選任

【会長】はじめに、議事録署名人を決めさせていただきます。時間の都合もありますので私の方で指名させていただいて、よろしいでしょうか。

(全員異議なし)

【会長】河村委員さんと根馬委員さん、よろしく申し上げます。

(両委員、承諾)

(2)【報告1】「令和6年度事業実績について」

(3)【報告2】「令和7年度事業計画について」

【会長】次に、次第3の(2)令和6年度事業実績について、(3)令和7年度事業計画について、事前に資料の送付はあったかと思いますが、事務局からの説明を受けたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【事務局】令和6年度ライフパーク倉敷科学センター事業実績について、ご説明いたします。科学センターの事業には3つの事業があります。事業費の内訳でいきますと、1つ目は宇宙劇場運営事業、2つ目は展示室運営事業、3つ目が講座イベント普及事業ということになります。また、令和5年度からの繰越事業ということで5,577,000円の事業がありました。この4つの事業費を足しますと、決算額が109,197,198円ということになります。令和5年度の決算額が96,068,121円でしたので、13,000,000円程の増額になっております。この増額の主な要因といいますが、先ほど申し上げた令和5年度からの5,577,000円の繰越額、それから会計年度任用職員の待遇改善ということで報酬等改定によるものでございました。5,577,000円の事業内訳については、またご説明したいと思います。また、歳入について少しだけご説明をしたいと思います。令和6年度歳入について、観覧料が28,608,440でした。講座の材料費が167,896円、プラネタリウムコンサートが186,150円ということです。これらのものが財源となっております。開館日数が305日、利用者数の合計が176,206人ということです。これを開館日数305日で割りますと、1日あたり578人ということになります。令和元年度の入館者数が175,820人ですのでコロナ禍の影響はほぼなくなったと考えております。展示室運営事業の中で特筆すべきものということで、全国巡回展示をご案内させていただきたいと思います。小惑星「イトカワ」「リュウグウ」粒子サンプル特別展示を開くことができました。昨年11月16日から12

月1日に行ったものです。それから公開教室ということで、移動プラネタリウムを5年ぶりに実施することができました。直径7メートルのテントを小学校の体育館に持ち込んでプラネタリウムを見学してもらうというもので、小学校4校を回ることができました。続いて、旧倉敷天文台スライディンググループ観測室保存修理工事ということで、この費用が5,577,000円になります。この修繕工事を令和6年3月1日から6月30日まで行いました。また、昨年9月からチケットの購入にあたって、キャッシュレス決済を利用していただけようになりました。続けて、令和7年度の事業計画を、ご説明したいと思います。昨年度と大きく変わったものをご説明します。宇宙劇場運営事業の全天周映画投影番組です。全天周映画については、科学センター協議会の答申により、全て選定をさせていただいております。現在3つのものを上映しております。本日は今年度上映する2本を選定させていただくというものです。それから展示室運営事業で、夏休み企画展「ワク★ドキ体験スペースパーク」を7月19日から8月31日まで開催しております。宇宙をテーマにした体験型の企画展でございます。合言葉は「関西万博には行けないけれども、ライフパークには行ける」というものです。これは科学センター協議会の委員の先生が言ってくださった合言葉でございます。続いて、公開教室ということで、今年度も移動プラネタリウムを実施したいと思います。それから旧倉敷天文台スライディンググループ観測室の活用を考えておまして、まずは月面Xを見る会を年3回、太陽観望会を年2回考えております。その他機会を見て考えていきたいと思っております。先ほど教育長の挨拶の中にもありましたが、来年がちょうど設立100周年にあたります。大正15年11月21日に日本初の公開天文台として開設されたものです。それまでは天文台はあるものの、公開はされていませんでした。記念すべき施設が倉敷にあったということで、覚えておいていただければと思います。説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【会長】 はい、ただいま令和6年度事業実績と令和7年度事業計画について説明していただきましたが、ご意見、ご質問がございましたら、よろしくお願いいたします。

【会長】 僕から言うのもなんですが、来年度、日本天文学会が岡山理科大学で開催されます。倉敷天文台が設立100周年ということで、エクスカッションなどできればいいなど、ちょっと思いました。また何かあれば、よろしくお願いいたします。

【事務局】 ぜひ、よろしくお願いいたします。

【会長】 他の委員さんから、何かありますか。

(委員からの意見なし)

【会長】 それでは、次第3の(2)「令和6年度事業実績について」と(3)「令和7年度事業計画について」の報告は、それぞれ認められたこととします。

(4)【協議】「令和7年11月期及び令和8年3月期全天周映画上映作品の選定について」

【会長】次に、令和7年11月期及び令和8年3月期全天周映画上映作品の選定にあたって、作品を視聴するために、会場の移動をお願いします。本日視聴していただくのは3本で、作品の説明については、視聴後に事務局からお願いしたいと思います。

(プラネタリウムへ移動)

(プラネタリウムにて全天周映画候補作品試写を鑑賞)

『ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～ (以下、ノーマン)』

『名探偵コナン 閃光の宇宙船 (以下、コナン)』

『コズミッククルーズ -大宇宙と私たち- (以下、コズミック)』

(上映終了後、研修室に移動)

【会長】 それでは全天周映画上映作品について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 失礼いたします。まずは3本の上映作品について、長時間にわたり3本の映画をご覧いただきまして、ありがとうございました。それでは資料の「全天周映画上映作品の選定について」をご覧いただきたいと思います。全天周映画は年間3本、7月、11月、3月に新作を投入しております。今回選定していただくのが、上映スケジュール案の表になっていますが、その中の、11月から上映する作品①と3月から上映する作品②の2本を、3本の中から選んでいただくような形になります。資料を1枚めくっていただきますと、表があります。職員対象の試写のランキングになっていて、この中の上位の作品を先ほどご覧いただいた、ということです。表中に星印が並んでいますが、職員の評価から分析して、作品がより子ども向け・ファミリー向けの作品か、大人向け・科学性の作品かを表しています。星印が左ほど子ども向けで、右ほど大人向けの作品ということです。次のページに最近の上映作品一覧が載っています。それから、全天周映画作品選定のガイドラインをご覧いただきたいと思います。表がありますが、昨年の7月から作品A、B、Cの3作品を上映しております。今回の選定におきましては表中の作品B『ドラえもん』、作品C『超巨大恐竜』との組み合わせについても、ご協議をいただけたらと思います。いずれの作品が科学センターで上映するのに相応しいか、ご協議をお願いしたいと思います。以上です。

【会長】 ただいまご説明いただきましたが、ご質問等ございますでしょうか。

(委員からの質問なし)

【会長】 今回は資料にある通り2つの作品を選ぶ形になります。『MMX』という宇宙系の作品が終わった後の11月開始の番組と、『ドラえもん』が終わった後の3月からの番組、という形に

なります。例年ですと、『ドラえもん』が終わった後は子ども向け番組かなとか、『MMX』が終わった後は少し宇宙系の番組かなとか思ったりもしますが、今回はいずれの番組も宇宙をテーマにしているところもありまして、なかなか悩ましいところだと思います。これから委員の皆様、いずれの作品を推すかを、感想を含めてご意見をいただきたいと思います。申し訳ありませんが、委員の名簿順で、お願いします。

(委員から質問あり)

【委員】過去の作品を見ていると、『ドラえもん』とか『しまじろう』とか、キャラクターを使った作品がいくつかあると思うんですが、キャラクターを使っているか使っていないかで、集客力がどのくらい違ってくるのでしょうか。データがもしあれば一番ですけれども、皆さんの肌感覚でも構わないので、いかがでしょうか。

【事務局】失礼します。キャラクターを使った作品がどうか、ということですが、過去にはしまじろう等の作品もありましたが、今上映しているドラえもんは、他のキャラクターと比べても別格です。これまで経験のなかったくらいにお客さんが入っていると感じているところもあります。肌感覚で申し訳ありません。数字も年度末には出ると思います。

【委員】ありがとうございます。

【会長】そういう意味で言うと、今回のコナンも集客力がすごく見込める作品だろうなということは間違いありません。ただ内容に関しては、いまちょうど映画館で上映しているコナンの映画のクオリティが高かったので、比較されると少し厳しいかもしれないと、思うところもあります。そういったところも含めて、順番にご意見をいただければと思います。

【委員】私も子どもがいますが、やっぱりドラえもんをみんな見に行っていて、自分も見て非常にいいなと思いました。今回は、「集客力という面ではコナン」という話がありましたけれど、科学センターで流すような内容ではないというか、ちょっと違うなと思いました。小学生向けに流すのか、少し小難しくして興味を持たせるのか、どちらかかなと思っていたので、そういった面では『ノーマン』が僕の中では一番いいなと思いました。科学だけではなくて、いろんな愛が溢れているなど。友達とか家族の話も盛り込まれていたのも、『ノーマン』が一番いいなと単純に思っていました。『コズミック』も、内容はちょっと難しいですが、中学生とか高校生とか、その先につなげていく話としては、これくらい難しい方がいいのかなと思って見ていました。以上です。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】3作品ともそれぞれ価値のある作品だなと思って見させてもらいました。『ノーマン』は、最後見終わった後に優しい気持ちになったのと、それから流星群が楽しみになるという気持ち

ちになりました。早速夏にペルセウス座流星群があつたりしますし、冬にはふたご座流星群だとか、今後1年通して流星群を楽しみにできるような、それで優しい気持ちになれるような番組で、家族で見ても、とても見やすい作品だなと思いました。『コナン』については、間違いなく集客力があるんだろうなと思いますし、今回の『ドラえもん』についても多くの子どもたちから見に行ったよという声を聞いているので、集客ということを考えるのであれば、コナンは、1番最初のオープニング部分もあつたので、見に来た子どもたちは楽しかったなという気持ちになる作品なのかなと思いました。『コズミック』については、宇宙の情報がぎゅっと盛りだくさんで、一気に図鑑のページをめくっていくような、宇宙の歴史だったり、そういったものを解説している番組だなと思いました。映像も非常にきれいで素敵だなと思ったんですけども、小学生には間違いなく難しすぎて、言葉が全部そのまま科学専門用語で解説されていたので、小学生は多分途中で、なんなんだろうという感じになってしまうのではないかなと思ったので、専門的に勉強している学生さんだとか、大人でこういうことに興味がある方についてはいい番組になっているのかなと思いました。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】まったく同意見です。どういう年齢層に来てもらいたいかという意図があるかで違ってくると思うんですが、やはり『コズミック』は難しいと思いました。やっぱり高校生とか。中学生にはちょっと難しいかなと思います。大人が見るのはなかなか面白い、映像も綺麗ですし、いいのかなと思うんですけども、子ども向けではないかなとは思いました。そういう意味で、トータル的なバランスは『ノーマン』がいいと思いました。『コナン』も、映画館に行くと、意外と子どもは見に行っていない。大人が多いです。なので、子どもの集客という面に関しては、『ドラえもん』ほどではないと思います。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】すべて内容は良かったんですけども、『ノーマン』は、いろんな知識、気象のこととか、流れ星の仕組みも、すごく分かりやすく説明をしてくださっていて、それと、あつたかい物語なので、本当に見た後にほっこりするような、子どもが見てもあつたかい気持ちになるような、いい作品だなと思いました。あと、映像が全天周のスクリーンにマッチしているというか、相性がいいなという印象を受けました。『コナン』については、やっぱり集客力は確かにあると思います。最初のオープニングから、アニメそのままの、ワクワクするような感じがあつて、内容も、いまのリアルな宇宙ビジネスの話も絡めていて、大人が見たらすごく楽しめるなつて思ったんですけど、どちらかというと大人向けかなという印象がありました。『コズミック』は、立体的に宇宙を感じることができて、今まで平面的に見ていた宇宙が、実際に宇宙の中を旅しているかのような、スケールが大きい、宇宙の大きさがリアルに分かる番組だなと思いました。宇宙が好きな大人にとっても見ごたえのある、すごく満足できる内容だなと思いました。私的には『コズミック』と『ノーマン』が、見てほしいと思えるような内容でした。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】1つ目の『ノーマン』が、忘れかけた大切な何かを思い出させてくれるような、自然と涙が出てくるようなお話でした。内容も素晴らしかったんですけど、星空が映っている時間がすごく長かったことも良かったし、言葉が少ない分、周りを見る、場面の展開もすごいゆっくりだったので、本当に星をじっくり眺めることができたな、という印象でした。2つ目は、「コナン」という作品を楽しむ感じかな、という印象です。でも、時々私もライフパークに来ることがあるんですけども、「科学を知りたいから見に行く」のではなくて、「ドラえもんだから見たい」と思うように、そのきっかけがコナンという子も中にはいるのかな、と思いました。出てくる言葉も難しいですけども、分かり易く言い換えているところもあったなと思っていました。ただ、印象に残っているのは最後のアクロバティックなバイクパフォーマンスで、星空よりもそっちの方が印象に残ったかな。『コズミック』は、正直私は宇宙に詳しいわけではなくて、一般人代表の感想としては、「へえ～」と思うことがいっぱい詰まっていました。見ると、すごい驚きがいっぱいだし、今まで星って、光、丸って印象だったんですけど、1個1個に形があるんだとか、とか星の見方が変わるきっかけになる作品だったなと思いました。ただ、大人向けの作品だと思うんですが、チラシだとか、来てもらうための働きかけや、良さを知らせてもらうための工夫がないと、集客には繋がりにくいのかな、という印象でした。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】まず作品②は、個人的には『ドラえもん』の後は『コナン』を入れた方がバランス的にはいいのかな、と思いました。作品①については、『コズミック』の方が内容的にも前の作品（MMX）からの繋がりを考えるといいなと、ぜひこれを入れていただいて、今までとはちょっと違うぞと、随分専門的に、メッセージがあるような番組になってきたなというあたりも主張としてあっていいのかなと思うんですけども、やっぱりちょっと難しすぎるな、ということになれば、『ノーマン』もありかなと思います。私自身は『コズミック』の方が作品①としてはいいかなと思いました。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】私も作品①については同じ意見で、『MMX』が終わった後は、ある程度大人も楽しめる『コズミック』が、ストーリーに重厚感がありましたし、映像も迫力があって綺麗なもので、子どもも、ストーリーが分からなくても宇宙ってすごいんだなと感じてくれるんじゃないかなと、この3作品の中では一番プラネタリウムの能力を活用している作品だったと思うので、個人的には作品①は『コズミック』がいいのかなと思いました。作品②に関して、『ドラえもん』が終わった後で、集客を考えると『コナン』というのは、そういう考えもありかなとは思いますが、プラネタリウムじゃなくてもよかったのかなというところと、『コナン』が子ども向けなのに扱っているものは社会的というか、そこの乖離は結構あるのかな、という印象でした。そのあたり、とりあえず興味を持ってもらうという意味で選ぶのも1つだと思いますが、

ストーリー的なところは『ノーマン』が、個人的にはこういうファンタジーがすごい好きで、流れ星の理屈みたいなのところもあったり、バランス的にはすごいよかったなというところと、皆さんおっしゃられている、あたたかい気持ちになれるというところで、作品としてはこちらの方が好きなんですけれども、一方で、子どもによっては、雪だるまがいきなり喋り出すというような、ファンタジー要素のところであんな突っかかってしまう子どももいそうで、そこが気に入るところかなと思います。作品②が悩みどころだと考えています。

【会長】ありがとうございます。次の委員さん、お願いします。

【委員】私も見ながら、ちょっと判断が難しいなという感じです。プラネタリウムの目的を踏まえて、誰を対象に、何のためにというところを考えながら選ぶと思うんですけども、私が子どもを連れてくるときは、やっぱりアニメを、まず子どもには見せるかなと思いつつも、『コズミック』も捨てがたいなという感じで、ちょっと難しいというか、選べないというのが本音です。ただ『コズミック』は非常によくできているんですけども、子どもだったら寝ちゃうかもしれないかなというのがあります。あと、パンフレットだけに頼るのではなくて、見た人に、オススメみたいな、ポップを考えてもらうような、参加型の見せ方というものもできると、みんなで作るプラネタリウムといいますか、そういう工夫があってもいいのかなと思いました。番組については判断を迷っていて、困っている状況です。

【委員】私、実は毎週土曜日の夕方はコナンを見ていまして、先ほど映画館に来る子どもは少ないという話がありましたが、30分という短い時間と、毎週見る感覚ってということで集客力を考えると、やっぱり『コナン』かなと。チラシの最後に宇宙開発のアナウンスもあったりします。『コズミック』も、話は少し難しいとは思いますが、宇宙というテーマをもとに、素粒子の話や、どうやって原子が作られているかという話など、天文学だけではなく化学の方の話に繋がっていくというところで、考えさせられることは非常に多いのかなと思いました。確かに難しいとは思いますが、プラネタリウムの外にチラシや天文王国のPOPが出ていたりしますので、そこにあとひと工夫あると、さらに集客が増えるのかなと感じました。上映作品というだけで終わらせるんじゃなくて、展示室にもつなげていけるようにすると、さらに集客が上がるのかなと思いました。『ノーマン』は、すごく臨場感があって、プラネタリウムで見ると内容は、自分が動いていないのに動かされているような印象があるので、そういった視点で見るとあれば面白いなと思いました。なので、作品をつなげていくというところと、集客っていうところを考えると、作品①は『コズミック』で、作品②は『コナン』かなと思います。どれも良かったですが。

【会長】これから結論を出していかないといけないんですけども、やっぱり悩むところが多いかと思います。ガイドラインに3作品の選び方、(1)科学解説の品質が高い、(2)集客力が高い、(3)低学年・幼児のニーズに応えられる、というところというところだと、なんとなく(1)が『コズミック』、(2)が『コナン』、(3)が『ノーマン』かなと思うんですが、なかなか難しい選定にはなるかな。多かった意見としては、集客を考えると作品②は『コナン』じゃないかという話がありま

す。『コナン』のプラネタリウムの番組としては、今回は殺人がないんですよね。過去にもプラネタリウム番組を作られているんですけども、子どもが「殺人事件があると怖い」と言って入らないということがあって、そういうふうになると、単にコナンとして売っただけではなくて、「今回は殺人事件がないコナンですよ」とか、ちょっと売り方を変えると小さい子どもに、より興味をもってもらえるかなど。あとは今日の話にもあったんですが、理科離れという点で、今までちょっと離れていた層に、プラネタリウムでコナンを上映していることに気づいてもらって、来てもらうのも重要なところがあります。で、作品①と作品②どちらから決めましょうか。基本的にどれも悩んでしまうというような感じで選び辛いところもあるんですけど、例年だと作品①から選んでいることが多いので、作品①からいきましようか。ちょうど『MMX』が終了したあとの番組ということになります。ただ全天周映画以外にも、プラネタリウムの番組もされていますので、『MMX』が終わったから宇宙要素の濃い番組じゃないといけないわけではありません。それを踏まえて、作品①に関してどの作品がいいか少し考えてもらって、多数決を採っていきたいと思います。作品①について『ノーマン』がよいのではないかと思われる方、挙手をお願いします。

(挙手なし)

【会長】 挙がらないのか。このタイミングだと冬の番組になるので『ノーマン』も意外に悪くないと思っていました。僕は『ノーマン』推しでした。では『コナン』がいいと思われる方。

(挙手なし)

【会長】 おられないですね。『コズミック』だと思われる方。

(多数挙手)

【会長】 圧倒的ですね。では作品①は、『コズミック』でいきたいと思います。では今度は2番目の作品です。3月期からの番組になります。『ノーマン』がいいと思われる方、挙手をお願いします。

(挙手3人)

【会長】 『コナン』の方がいいと思われる方。

(挙手6人)

【会長】 ありがとうございます。『コナン』の方が多く挙がっているかと思います。『ノーマン』は長寿番組だと思うんですが、報われない番組になってしまいましたね。今回としては令和7年11月期からの上映番組を『コズミック』、令和8年3月期からの上映番組の方を『コナン』

ということで結論とさせていただき、答申書を作成したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(全員異議なし)

(5)その他

【会長】議題として諮問で決めないといけないことは以上だと思いましたが、その他、事務局から何かありますでしょうか。

【事務局】アンケート用紙を入れていると思います。科学センター協議会は、夜の6時30分から開会することが多いですが、夜に協議会をすると負担があると思いますので、少しでも早く、あるいは午前中とか午後できないものかということで、アンケートを採ろうとしているものです。ぜひ皆さんからのご回答をお待ちしております。事務局からは以上です。

【会長】前回のときにも、開催時間の調整の話があったかと思いますが、これが正式な調査ということで、皆さんご協力の程、よろしくお願いします。副会長なにかありますでしょうか。

【副会長】午前、午後、いまの時間でない早めの時間、に開催をするとなった場合に、平日に行くということで、プラネタリウムを見るときに、一般のお客様が来られる時間と重なることについては、問題ないでしょうか。

【事務局】夏休みなどは、平日でも午前中からプラネタリウムの番組がありますが、夏休みとか春休みを外せば、大丈夫です。

【副会長】平日に行くことに関して、日中行うことや早めの時間に行くことに関しては、全く考慮なくていいということで回答させていただいたらいいということでしょうか。

【事務局】そうですね。

【副会長】かしこまりました。

4 閉会

【会長】本日の協議会で予定されていた全ての議事がこれで終了しました。進行を事務局にお返しします。

(ここから事務局が進行)

【事務局】長い間、御審議いただきありがとうございました。以上で科学センター協議会を閉会いたします。お気を付けて、お帰りください。

令和7年7月24日

会 長 福田 尚也 

議事録署名人 河村 勝則 

議事録署名人 根馬 英伸 
